

教 育 民 生 委 員 会 会 議 録

- 1 . 日 時 平成23年5月25日(水曜日)
午後0時58分~午後1時15分
- 2 . 場 所 委員会室
- 3 . 出席委員 山本昌二委員長 岡山 隆 副委員長
徳並伍朗委 員 大中 宏 委 員
柴崎修一郎委 員 荒山光広委 員
西岡 晃委 員 河本芳久委 員
秋山哲朗議 長
- 4 . 欠席委員 なし
- 5 . 出席した事務局職員
重村暢之 議会事務局長 岩崎敏行 議会事務局主査
- 6 . 説明のため出席した者の職氏名
村田弘司市 長 林 繁美 副市 長
永富康文教育 長 山田悦子 教委事務局長
石田淳司 教委事務局次長 金子 彰 市民福祉部長
佐々木 彰 宣 市民福祉部地域福祉課長

午後0時58分開会

委員長（山本昌二君） 只今より教育民生委員会を開会いたします。先程の本会議におきまして本委員会に付託されました議案2件につきまして、これより審査いたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。それでは、これより審査を始めます。最初に議案第2号平成23年度美祢市一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。執行部から説明を求めます。はい、石田事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 補正予算書の2-10、2-11ページをお開き頂ければと思います。10款教育費・2項小学校費・3目学校施設整備費、節15の工事請負費を1,160万円増額補正するものでございます。これは先程提案説明がありましたとおり、昭和62年3月に設置しました於福小学校のし尿だけを処理する単独処理浄化槽内部の部品が一部破損いたしました。設置後二十数年が経過しておりますので、部品の調達ができない状況にありますので、この度新たにし尿だけではなく雑排水も処理をいたします合併処理浄化槽を設置するための工事費を計上するものでございます。なお浄化槽法の改正が平成13年4月施行されましたので、し尿だけを処理する単独処理浄化槽は今は浄化槽という文言の中から削除されておりました、今は合併処理浄化槽ということになっております。以上で説明終わります。

委員長（山本昌二君） ありがとうございます。説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。はい、岡山副委員長。

副委員長（岡山 隆君） 皆さんからなかったようでありますので、ちょっと私のほうから勉強不足でもあるし、ちょっと教えて頂きたい点もあるんですけども、平成23年度の補正予算、国では4兆153億円が確かついたと思います。そしてその内340億円が小・中学校、公立学校の耐震化予算として340億円ついておると思いますけれども、そういったものが各自治体に交付金として補正として入って来たお金というのが、今回学校施設の整備経費としてのこういった合併浄化槽18人槽の組み替えと言うかこういった形になったのかどうか、ちょっとその辺、全然そうではないんだということ、ちょっと勉強不足ですのでその辺ちょっと教えて頂きたいと思えます。

委員長（山本昌二君） はい、石田事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 今の国の補正予算のほうで計上がされたということだと思います。確か5月2日の国会において通過したというふうに思っております。これは、主なものが学校施設の耐震化に伴うものが教育委員会事務局としての

所管になろうかと思いますが、この度補正予算に伴います美祿市の教育委員会としての対象のものはなかったというふうに思っているところでございます。この度のこの単独処理浄化槽の財源につきましては、2 - 8、2 - 9ページのほうに地方交付税を充当するというふうな記載がございます。これは地方交付税がこの合併処理浄化槽を設置するために新たに交付されるものではないというふうに財政課のほうから聞いております。既定の交付税の中での財源充当というふうに聞いております。以上でございます。

委員長（山本昌二君） はい、岡山副委員長。

副委員長（岡山 隆君） その辺よくわかりました。それで今回於福小学校の合併浄化槽の18人槽の1基をですね整備したということで、経費が1,160万円かかっておりますけれども、今後この今現在のところ合併浄化槽で、都市計画以外のところですねまだ下水道が通っていないところは合併浄化槽となると思いますが、今から今後こういった合併浄化槽の施設整備工事をしなくてはならない今後の計画というのはあるのかどうか、その辺についてお尋ねしたいと思っております。

委員長（山本昌二君） はい、石田事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 先程申しました浄化槽法の中には合併浄化槽をいつまでに付けなくちゃいけない。すなわち単独処理浄化槽をいつまでに廃止しなければいけないというような規定はないと認識をしております。当然環境のためには合併処理浄化槽のほうがよろしいわけでございますので、今後学校の施設整備計画も含めまして、それらの浄化槽をどうするかということも併せまして協議するということを考えているところです。以上です。

副委員長（岡山 隆君） 合併処理浄化槽、今後そういう形にシフトしていくということお話がありましたけれども、その辺については今後して行くというだけで、今後工程表か何かそういったものを策定してですね進めて行こうとされてるかどうか、この辺についてはどうでしょうか。

委員長（山本昌二君） はい、石田事務局次長。

教育委員会事務局次長（石田淳司君） 浄化槽の更新につきましては、具体的には更新のいわゆるスケジュールと言いますか、というのは今のところ設けておりません。以上でございます。

委員長（山本昌二君） 他に質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） 質疑はございませんですが、ご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） ありがとうございます。それではこれより議案第2号平成23年度美祢市一般会計補正予算（第3号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） 全員異議なしと認めます。よって議案第2号は原案のとおり可決されました。

次に議案第4号平成23年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。執行部から説明を求めます。はい、佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） それでは議案第4号平成23年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）についてご説明いたします。これは、平成22年度決算見込において、歳出見込が3,389万円であるのに対しまして、住宅資金償還金の未納によりまして、歳入見込が206万2,000円となり、差し引き3,182万8,000円の歳入不足が見込まれます。これを繰上充用するため平成23年度補正予算を計上しております。平成23年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）の4-10ページ、4-11ページをお開き下さい。以上によりまして、歳出につきましては、前年度繰上充用金を3,182万8,000円計上しまして、歳入につきましては、4-8、4-9ページにお戻り下さい。款諸収入・項貸付金元利収入・目住宅資金貸付金元利収入として、同額の3,182万8,000円を補正計上しております。以上の補正によりまして、平成23年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計における既定予算の歳入歳出それぞれ3,182万8,000円を追加し、歳入歳出予算それぞれの総額を3,367万3,000円とするものでございます。よろしく願いいたします。

委員長（山本昌二君） ありがとうございます。只今説明が終わりましたが、本案に対する質疑はございませんか。岡山副委員長。

副委員長（岡山 隆君） それではお尋ねします。平成23年度美祢市住宅資金貸付事業につきましては、これは今現在まだ継続されているのかどうか、この辺についてまず最初一点お尋ねしたいと思います。

委員長（山本昌二君） はい、佐々木地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） それでは岡山委員のご質問にお答えいた

します。現在はもう終了しております、この事業自体は終わっております。（発言する者あり）平成10年で、9年に廃案になっております。

委員長（山本昌二君） 岡山副委員長。

副委員長（岡山 隆君） それでですね平成9年からこの事業がなくなったということで、当初その当時歳入不足がどの程度あったか、現在は平成23年度においては3,180万程度残っておりますけれども、当初から比べれば相当この歳入不足というのは減ってきてるのかどうか、そして今後この未納分については、今後ともお支払いをしっかりとしていくように鋭意努力されるとは思いますが、その辺の取組と申しますか、それについてはどのようなお考えであるのでしょうか、お尋ねします。

委員長（山本昌二君） はい、佐々木課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） 償還金の額につきましては、平成9年度につきましては今把握しておりません。ただ毎年償還のほうに努力しておりますので、額につきましては、額というか未償還額につきましては年々減っていったというのが現状でございます。

委員長（山本昌二君） 岡山副委員長。

副委員長（岡山 隆君） それではですね、この事業に関しましてはもう既に廃止ということでありましてけれども、この未納金に関しましてですね、この事業を閉じた時点から現在までの未収金がどのように推移していったか、この点の資料をですねちょっと見て行きたいと思っておりますので、その辺についてちょっと資料をですね提出して頂きたいと要望したいと思っております。それで今後ちょっと今もお答えがぱっと響いてこなかったんですけれども、この辺の取組についてもですね今後どのように具体的にされるかということ、何か機会あるときにですねしっかりと資料なりまた取組状況、計画をしっかりと出していただいて、議会側のほうにその辺を納得するようなものを提出していただきたいということをお願いしたいと思っております。その辺できますか。

委員長（山本昌二君） はい、佐々木課長。

市民福祉部地域福祉課長（佐々木彰宣君） 償還の件につきましては、後日提出したいと思っております。収納につきましては月末中心にいたしまして、燐戸訪問、電話催告などやしまして、随時実施しております。特に盆前とか年末には集中徴収月間といたしまして、精力的に催告を行っているところでございます。なお毎月今現在支払って頂いている方が5名おられます。それと偶数月の年金支給月に支払っていただいて

おる方が2名おられます。今後とも未償還額を減らすために努力して参る所存でございます。よろしくお願いいたします。

委員長（山本昌二君） ありがとうございます。他に、いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） 本案に対するご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） それではこれより議案第4号平成23年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） 全員異議なしと認めます。よって議案第4号は原案のとおり可決されました。

以上で本委員会に付託されました議案2件につきまして審査を終了いたしました。その他委員の皆様から何か発言がありましたら、ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山本昌二君） ほかにご意見がないようでありますので、これにて本委員会を閉会いたします。ご審査、ご協力誠にありがとうございました。お疲れでございました。

午後1時15分

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成23年5月25日

教育民生委員長

山本昌二